



聴いてわかる録音図書を作るために (第8回)

録音図書製作は共同作業

久保洋子

録音図書は一人で製作することはできません。

人間誰しも、思い込みがあったり、うっかりすることがあったり、一人の力で原本通りの録音図書を作ることは難しいのです。情文では、モニター校正、第二校正、編集校正、デイジー校正と、製作の各段階で校正をしています。

各段階でそれぞれ注意しなければならないポイントはありますが、まちがいは出来るだけ早い段階で、少なくとも二校の段階で見附きたいものです。誤読のチェックは勿論、きれいに録音されているか、きいてわかるように読まれているかをチェックすることが大切な作業です。原本を見ながらきいているわけですから、“きいてわかるか”のチェックは仲々難しいのですが、これができなければ録音図書を校正したことにはなりません。

漢字の同音異義語、造語、図・表・写真など文章以外のもの、など、問題点はいろいろありますが利用者に私たちが読んで理解するのと同じように、原本の内容を正しく伝えることができているか、をチェックしてください。

アクセントの狂い、文章の切り方、立て方などでも中味が正しく伝わらないと考えられる時には指摘して訂正してもらいましょう。

訂正後の録音図書がもとのものより、いいものになっていなければ、何のための校正かわかりません。その本に何度もでてくる人名、地名、その他の熟語などは、初出の時に注意して確かめてみることも必要です。これは勿論読み手が気を付けるべきことですが、校正者も同じように注意してください。

音声訳者、校正者、編集者、みんなの目標は一つ、“利用者により良い録音図書を提供すること” そのために、皆で力を合わせて行きたいと願っています。 (つづく)

盲人情報文化センターでは、2005年度より、「PRS Pro」を使ってデージー図書を先に製作し、テープ図書は同ソフトを使用して自動編集で作成する方式に切り替えています。今回は、デージー図書の校正の手順について掲載します。

フリックストークを使った デージー校正の順序と注意点

通し校正に入る前に

- 1) CDを入れて「しばらくお待ちください」のあとに「書名」が出るか
- 2) Playキーを押す
 - ・もう1度「書名」から始まる。
 - 書名・副書名・(原題名)・著者名・製作館名・製作年・原本凡例・デージー図書凡例 まで聞く。
- 3) デージー図書凡例の内容を確認しておく
 - ・レベルはいくつか。
 - ・グループの区切りはどこに使っているか。
 - ・その他の処理凡例
 - 以後、凡例が本文中と合致するかに注意。
- 4) 数字キー1とTreeキーで先頭に戻る
 - ・十字キーでレベルごとに各タイトルを確認。

十字キーの使い方

- ・上下の矢印はレベル1、レベル2、などの移動
 - ・左右の矢印は各レベルのタイトルの移動
 - レベル1ではレベル1のタイトルの移動
 - レベル2ではレベル1とレベル2のタイトルの移動
 - レベル3ではレベル1とレベル2とレベル3のタイトルの移動
- などとなる。

5) 目次のフレーズの確認

左下の左右 キーで目次の項目が1フレーズ（項目からページまで）になっているか確認

（この操作は出来るだけ切りよく送る）

6) グループで区切りをつけている場合の確認

グループは #とTreeで送り、*とTreeで戻しをする。

グループで区切りをつけている箇所、送り・戻しをして確認する。

#とTree、*とTreeはグループだけでなく全セクションの項目も含めて順番に移動する。

7) ページの確認

・数字キーでページNo.を押し、Pageキーを押す

・ 目次の項目のページを指定しページを確認

文中でページの途中から目次にある項目が始まっている場合は、ページNo.とPageキーを押したあと#とTreeで送ると項目が出る。

・ 各ページの確認

編集では出来るだけ各ページの先頭近くにページを付けることになっている。（場合によっては前ページの最後あたり）

ページづけに大きな狂いがないかところどころで確認する。

通し校正に入る

数字キー1とTreeキーで先頭に戻る。

（数字キー0とTreeキーで最後に移動）

1) 原本と照合する

「デイジー図書録音順序」「校正マニュアル」に準じて校正する

2) 前枠と後枠の製作年はあっているか

3) デイジー図書凡例でことわったとおりの使い方が出来るか

4) 処理で問題はないか

5) 文中の各項目（目次にある項目）の箇所で、項目からページまでが1フレーズになっているか左下の ◀◀ ▶▶ キーで確認

6) 録音のレベルはあっているか

7) 脱行・ダブリ・雑音・消え残りなどはないか

8) 後枠が完成しているか

製作年月日・校正者名など

9) 「最後です」のコメントがでるまで聞く

10) その他気づいた点

再生中にTimeを押すと経過時間と残り時間

停止中にTimeを押すとトータル時間

再生中にPageを押すと再生中のページ番号

(空白などでページ付けのない時は“ページがありません”のコメント)

停止中にPageを押すとトータルページ (編集で付けた最終ページ)

※上記の“通し校正に入る前に”と“通し校正に入る”は順序が前後しても差し支えありません。

※CDを入れたら「これは再生できないディスクです」というコメントが出た場合は、職員にお知らせください。

講座のご案内

今年10月より、プライベート資料の音訳者養成の為の講座 (全5回) が、下記の内容で実施されます。この講座は、毎日新聞大阪社会事業団の主催によるもので、盲人情報文化センターが後援しています。この講座を希望されます方は、下記の実施要項を参考に必要事項を記入し、ファックスでお早めにお申し込みください。

2005年度・第18回専門音訳講習会

プライベート図書音訳コース実施要項

主催：毎日新聞大阪社会事業団

後援：社会福祉法人日本ライトハウス

盲人情報文化センター

1. 趣旨 学術・専門資料の音訳に対するニーズは、視覚障害者の高学歴化、職業・趣味の多様化、コンピュータや東洋医学といった専門知識への関心の高まりに伴い、年々、増加する一方である。この講習会は、こうした多様化する利用者の様々な資料の音訳に機敏に応えられる音訳者の養成を行うものである。

講習修了後は、盲人情報文化センターを拠点として、修了者の研修、情報交換などを進め、プライベート図書音訳サービスの充実を図る。

2. 講習内容

講習会名	プライベート図書音訳コース（基礎編）
内 容	利用者から依頼のあるさまざまな資料を利用者の求める内容で迅速に音訳する基礎的な知識を学ぶ
日 程	10月19日(水) 毎月1, 3水曜日午後13時30～15時30 *10月12日(水)午後13時半から適性テストを行います。
講 師	盲人情報文化センター
定 員	15名
資 格	現在、音訳活動をされている方
申込方法	申込用紙を提出
申込締切	2005年10月7日（金）

3. 受講料 1,000円（全5回分）

4. 会 場 日本ライトハウス盲人情報文化センター

5. 申 込 先 社会福祉法人日本ライトハウス

盲人情報文化センター専門音訳講習会係

〒550-0002 大阪市西区江戸堀1-13-2

TEL 06-6441-0015 FAX 06-6441-0039

申 込 書

第18回専門音訳講習会（プライベート図書音訳）コースの受講を申し込みます。

氏 名	男・女	歳
住 所	〒	
TEL/FAX		
所属グループ名		

利用者からプライベート製作依頼を受けている図書です

この本は利用者から依頼を受けている本です。

音訳をして頂ける方がありましたら、録音製作係までご連絡ください。

『靖国論 新ゴーマニズム宣言SPECIAL』小林よしのり著 <政治>

『あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師等に関する法律…』

(社) 全日本鍼灸マッサージ師会編<医学>

『クリニカルマッサージ』M. Pounds著 大谷素明監訳<医学>

『言語聴覚療法』小寺富子監修<医学>

『ヤンタンノ時代』渡邊一雄◇

ボランティア募集

デイジー編集ボランティア募集

最近、プライベート製作をデイジー図書で、との依頼が増えています。今回、プライベート図書のデイジー編集ボランティアを若干名募集します。

希望者は盲人情報文化センター録音製作係まで電話でお申し込みください。

電話 06-6441-0015 (火~土 9:00~17:00)

スタジオモニター者募集

スタジオでのモニター者を若干名募集します。仕事は、スタジオの外で、①原本を見ながら、②録音の為の機械操作を行います。

1回が半日単位(午前か午後)の活動になります。モニター者の活動にご協力頂ける方がありましたら、録音製作係までご連絡ください。

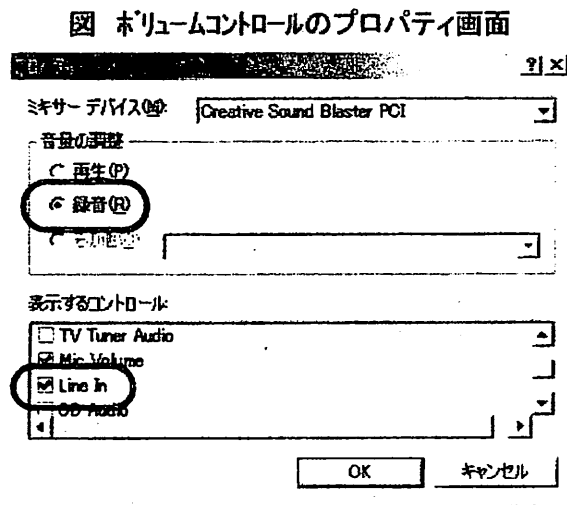
カセットテープからのデジータ図書作成(その2)

2.3 Windows のボリュームコントロール設定

Line In の録音コントロールを選択することにより、Line In 端子に接続したカセットデッキから録音できるようにする。

- ① Windows 画面右下端のタスクバーにある[スピーカー]マークをダブルクリックして[Volume Control]画面を表示する。
- ② [Volume Control]の[オプション]→[プロパティ]とクリックして[プロパティ]画面を表示する。
- ③ [音量の調整]欄は[録音]を選択し、[表示するコントロール]欄は[Line In]をチェックして選択する。
- ④ [OK]ボタンをクリックすると、[Recording Control]画面が表示されるので、[Line In]の[選択]をクリックしてチェックマークを付ければ設定完了。

注:タスクバーに[スピーカー]マークが無い場合には、[スタート]メニューから[アクセサリ]→[エンターテイメント]→[ボリュームコントロール]と選択して[Volume Control]画面を開くことができる。



3. PRS の初期設定

PRS の使用に先立って必要となる初期設定を紹介する。ここで設定された内容は次回立上げたときにも有効である。

3.1 音声ガイド設定

音声ガイドは視覚障害者がデジータ図書を作成するには不可欠であるが、編集に慣れてくると音声ガイドはむしろ無い方がやりやすい。

[オプション]メニュー→[音声ガイド設定]画面を開き必要に応じて、編集中および録音中の音声ガイドの[あり]、[なし]を設定する。

3.2 CD-Rドライブ設定

PRS 編集画面から直接 CD-R に書込むことができる。[オプション]メニュー→[CD-R ドライブ設定]画面を開き、使用する CD-R ドライブ装置を[使用ドライブ]欄で指定する。

[一時イメージの作成]欄は[あり]を選択する。

図 [音声ガイド設定] 画面

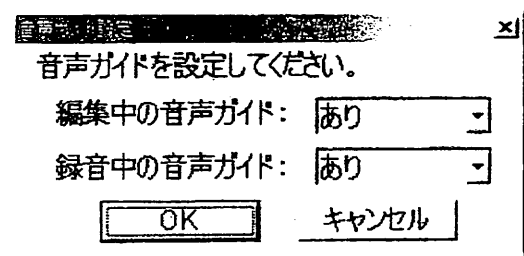
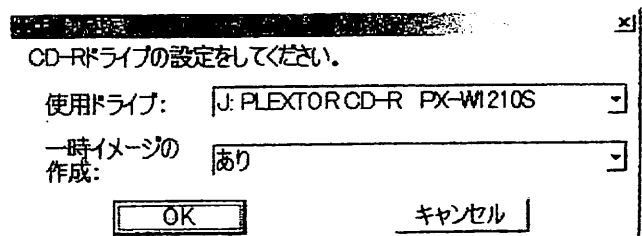


図 [CD-Rドライブ設定] 画面



3.3 新規作成するプロジェクトの保存場所

編集や校正中のダイジープロジェクトなどを保存・管理するには20～30GB以上の容量のある専用の保存場所が欲しいが、その保存場所はパソコンのHDD(ハードディスクドライブ)環境に応じて決める必要がある。

OSや各種ソフトが保存された[C]ドライブの他に[D]ドライブや[E]ドライブがある場合には、それらをダイジー専用の保存場所にするとうい。また、私の所属するボランティアグループで使用しているパソコンは6GB程度のHDDしか内蔵してないので、外付け用HDD(60GB)をダイジー専用として用いている。また、図書館と自宅の両方で編集を行うような方にはUSB接続のポータブルHDDも有効である。また、容量は大きい[C]ドライブだけしかない場合には、他のフォルダとの混雑を避けるためにダイジープロジェクト専用の保存用フォルダ(例えば「Daisy Contents」と名前を付ける)を[C]ドライブの中に作ることもできる。

PRSでは新規作成するプロジェクトの保存場所(ドライブまたはその中のフォルダ)を予め指定しておくことができる。ダイジー図書作成の最終の段階で音声エクスポートして作成する新しいプロジェクトの保存場所を指定するのを忘れると、エクスポート元のプロジェクトフォルダの中に保存されてしまい、エクスポートしたはずのプロジェクトが見当たらなくなることがある。保存場所を予め指定しておくことでこのようなトラブルを防止することができる。

[C]ドライブの中に、新規作成または音声エクスポートしたプロジェクト専用の保存用フォルダを指定する場合を紹介する。

- ①[オプション]メニューから開いた[録音設定]画面の[新規作成時に開くフォルダ]欄はデフォルトでは空白になっている。
 - ②[フォルダ選択(...)]ボタンをクリックすると、[フォルダの参照]画面が表示されるので、保存先の[C]ドライブを選択した後、[新しいフォルダの作成]ボタンをクリックして、[C]ドライブ直下に新しいフォルダを作成し、名前(例:Daisy Contents)を付ける。
 - ③[OK]ボタンをクリックすると、[新規作成時に開くフォルダ]欄にフルパスで表示された保存先フォルダ(例:C:\Daisy Contents)が指定される。[録音設定]画面の[OK]ボタンをクリックして設定完了。
- 参考:②で[D]ドライブを選択し、[OK]ボタンをクリックして保存先[D]ドライブ(D:\)を指定することもできる。

図 [録音設定]画面

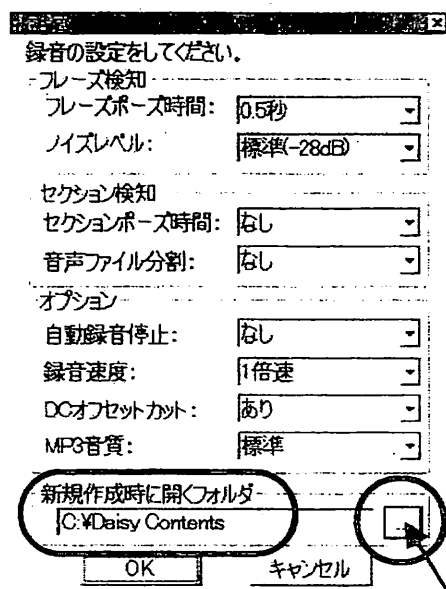
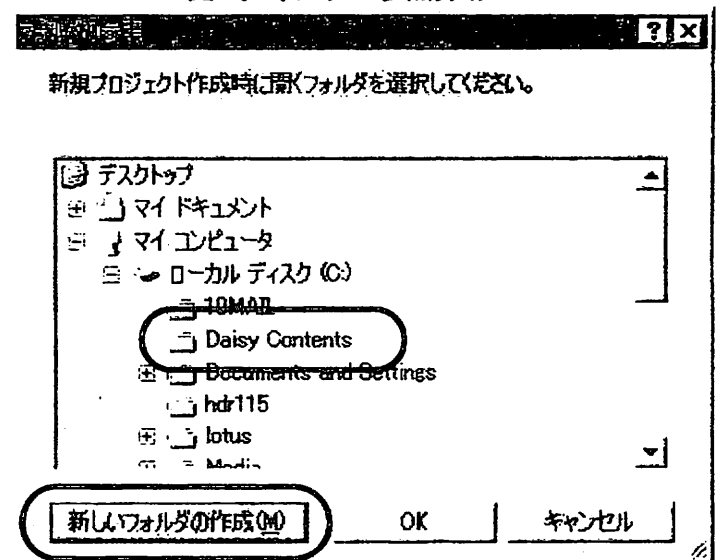


図 [フォルダの参照]画面



(つづく)

(テープライブラリーにしのみや 鳥生次郎)